

## 洋書輸入協会会報

VOL. 7

NO. 11

(通巻79号) 昭和48年11月

## 理事会報告

10月11日(木)

- (1) 9月分収支計算・予算対比表の検討
- (2) 関税定率法第21条関係の問題について討論
- (3) 情報交換
- (4) その他。

10月26日(金)

- (1) Kraus Reprint の件

丸善大野氏、紀伊國屋相良氏のフランクフルトにおける同社との交渉についての報告を相良氏からきき、渉外委員会からの問合せについての返事を督促することとなる。

なお、第5版のカタログでU S \$ 100.00のものは第7版ではU S \$135.00に、第6版でU S \$115.00のものは第7版ではU S \$ 135.00になり、現行1 \$...S.Fr3.50の換算が第7版からは daily rate of exchange によってスイス・フランに改められることとなるであろうとの由。

- (2) 通関委員会から、通関協議会主催の成田空港見学会に参加した旨の報告があった。
- (3) フランクフルト書籍展視察団報告。

事故もなく、会員元気で帰国。今回ははじめて Penguin, ABP, Hachette の各社を協会代表の形で公式に訪問し、見学、交歓に成果のあったこと、またロンドン、パリ、ローマでもう少し時間がほしかったという意見があった旨報告された。

- (4) その他。

## 通関委員会だより

先般、関税定率法第21条に関する出版物の輸入について、理事会および通関委員会より、下記の通り会員に通知されましたので、改めてその全文を掲載いたします。

JBIA No. 205

昭和48年9月28日

会 員 各 位

洋 書 輸 入 協 会  
理 事 会  
通 関 委 員 会

関税定率法21第条に係わる出版物等について

会員の皆様方には既に御承知の通り、公安または風俗を害すべき書籍、図画、彫刻物その他の物品の輸入は禁じられております。(附記関税定率法第21条参照)

先般新聞紙上に、法規に抵触する出版物が当洋書輸入協会の会員により輸入された記事が掲載されました。記事内容は誇張されたものであったとはいえ、その出版物の一部が現行法規に抵触する事実があり、そのため関係官庁に多大な迷惑をおかけいたし、また業界の信用と品位が傷ついたことは誠に遺憾です。

このことは深く反省せねばならぬと同時に、各社が管理体制を強化して今後はこのようなことの無いよう厳重な注意を払われんことを要請いたします。勿論「ポルノ同行物」と称される卑俗な出版物等は絶対に取扱ってはならぬことは言うまでもありませんが、一般的な写真集、画集及び雑誌等で、その内容の一部が法規に抵触することがありますので、その取扱いは慎重を期さねばなりません。またそのおそれのあるものの輸入に当っては、各会員が商品説明書等を附して積極的に税関の検査を受けるようにしてください。なお通関後に該当品を発見した場合は、自発的に税関に持参して適切な処置を取られるようお願いいたします。

法規に違反する事態を来たしますと関係官庁との信頼が崩壊するばかりか、処分を受けると共に業界全般の通関手続きに差し障りが生じますことを充分ご認識いただきたいと存じます。

当洋書輸入協会会員相互が良識をもって一致協力し、業界の健全な発展と信用の向上に努力されんことを切望して止みません

(附記)

関税定率法

第21条 左の各号に掲げる貨物は、輸入してはならない。

第3号 公安又は風俗を害すべき書籍、図画、彫刻物その他の物品。

|                      |   |                        |   |              |   |
|----------------------|---|------------------------|---|--------------|---|
| 理事会報告.....           | 1 | Book Review .....      | 4 | ニュース.....    | 6 |
| 通関委員会だより.....        | 1 | 外国出版社の紹介 .....         |   | 通関統計.....    | 7 |
| 国際書籍展視察団報告.....      | 2 | Duncker & Humblot..... | 5 | 総代理店ご案内..... | 7 |
| ヨーロッパの建築書専門店のこと..... | 3 | 海外ニュース.....            | 6 | 広告(洋販).....  | 8 |

## 第5回 国際書籍展視察旅行レポート

10月2日23.00時、羽田空港——

JALジャンボ・ジェット機433便は、意外な身軽さで飛び上った。これが空をとべるのか、というのがはじめてジャンボ機を見るものの正直な感想だったが、飛行に移ってからの震動も思ったより静かである。

なにはともあれ、無事出発できたことを祝い、隣席の石内団長とスチュワーデスにたのんだ日本酒で乾杯する。最新型のジェット機の内、高度1万米の上空で飲む日本酒は、しかしなんの違和感もなく心よく胸にしみた。

ふりかえって団員諸氏の席をみると、それぞれ杯をかたむけたり、語りあったり思い思いのホーズでくつろいでいたが、350人乗りがびっしりと満席であったのにしては、機内が静かだったのは、やはり旅立ちの緊張感がまだほぐれてなかったせいかもしれない。

今回で5回目を迎えたこの視察旅行は、団長を海外旅行に経験ゆたかな石内氏（東光堂社長）にお願し、副団長には相良氏（紀伊國屋書店取締役）、又洋書輸入協会員以外の参加者の代表という意味で島田氏（島田洋書社長）に相談役として、いろいろと貴重な意見を聞かせていただいた。総勢30名のうち洋書輸入協会の会員は15名であった。団長、副団長のほか下記の諸氏である。大野氏（丸善）中川氏（東光堂）伊藤氏（極東書店）志保沢氏（国際書房）野村氏、亀井氏（三省堂）佐久間氏（アカデミア・ミュージック）秋山氏（白鷗洋書）山川氏、鍵谷氏（ノベルティ）及び金田、萩野、山口（洋販）。

この旅行が終ってのいつわらざる感想としては、なぜこんなすばらしい旅行に会員諸氏がもっと積極的に参加してくださらないのかということである。とくに今回のメンバー諸氏は皆さん実によく働き、よく遊ばれた。ある日は日中出版社をまわり、また自分一人単独で遠くの取引先まで出かけて行き、十分な成果を上げておられた方も多かった。その反面、羽をのばすところは十分に伸ばして遊んでおられたけれど、そのために団体の行動を乱すことは一度もなかったのである。各地のホテルで出会った日本人の団体旅行者の、同国人として恥かしくなるようなふるまいの多かったことを見るにつけ、すばらしい《旅の仲間》と17日行動をともにできたことを、心からよろこばずにはいられない。

ロンドン、パリで会員諸氏が訪問された各出版社については、別にレポートがあるので省略させてい

ただが、この二つの都市については、とくにもう一日滞在したいという声が多かった。歴史と伝統の重量感がじかに伝わってくるような印象的な都会であった。どの団員にも去りがたい気持ちを強くいだかせたようだ。

南仏ニースはまだ夏の終りだった。10月上旬というのに泳いでいる人も何人かいておどろいたが、大部分の避暑客の立ち去った街には静かな落ちつきが感じられた。ロンドン、パリとあまりにも見るべきところの多かった都会から来たニースの街は、旅の小休止というべきだろう。郊外の城跡をたずねたり、マチスの墓を訪れたりして思い思いの休日をたのしんだ。

ローマのダヴィンチ空港から迎えのバスが動き出したとたん、団員諸氏の口からもれた感想はきせずして同じであった。「汚いなあ、日本そっくりだし、まったくこの都会は日本に似ているところがいろいろとある。その前の都会ジュネーブが、ヨーロッパでももっとも美しい都市であったことと、あまりにも対称的であるために、最初の印象はおそろしく悪かったが、ある意味ではヨーロッパでもいちばん人間臭い都会ではないだろうか。どの国もどの都会もその本当の姿を見、その国の人達の本当の心にふれあうにはあまりにも短かすぎたが、それは団体旅行の宿命とでもいうべきものだろう。

フランクフルトでの会員諸氏の活躍ぶりについては、あらためて申しあげるまでもないだろう。広い会場に散らばって、それぞれの分野で取引先のブースに入りこんで、懸命に英語を駆使しておられる姿をあちこちで見かけた。

10月17日12.00時、旅はあっけなく終わろうとしていた。フランクフルト空港の景色は、ヨーロッパのどの空港にもみられる平凡なものではあったが、ふたたびこの土地を、またヨーロッパを訪れることのできるのはいつの日か、という思いがどの団員の胸にも去来していたのではないだろうか。

安全ベルトを締め、静かに日航ジャンボ・ジェット機434便が滑走しはじめた時、小さな丸窓の外に流れ去るフランクフルト最後の景色に見入る、隣席の相良副団長の謹厳な表情にも、一瞬かすかな感傷のかげりが浮んだと見たのは、私の思いすごしだろうか。

18日17.00時、ジャンボ・ジェット機は無事羽田に到着し、すばらしかった我々の旅は終了した。

（洋販 金田富士彦）

## ヨーロッパの建築書専門店のこと

法政大学講師建築科 佐々木 宏

建築という分野は一般に特殊なもののように思われているが、案外、様々な分野に深い関連がある。芸術、とくに美術の一分野とも見なされているし、構造の面などは力学系の技術工学の分野であり、都市や住宅をめぐる問題では社会科学とも密接に結びついている。その他いろいろな点を挙げることができよう。しかし、そのような面をもっているにもかかわらず、建築の本というのは発行部数も少く、まして専門店となるとめったにない。日本では数年前、神田の古書街の中にMという建築専門店が出来た程度である。それでも、洋書輸入業者の中には、M社のように古くから建築やデザイン関係の本や雑誌を専門に取扱っている所があり、その後、いくつかの類似の業者が現われて、私たちは大変恩恵を受けている。したがって、最近では海外の建築書を手に入るのは、それほど不便ではなくなっている。

それにもかかわらず、私は訪欧するたびに、かなりの建築の本を買い込んでくる。日本から注文することの可能な本については、書名、著者、発行所などをメモしてきて帰国してから業者に依頼することになっているが、その出来そうもない出版物については、やはり現地で買い求めて、送らせるか持ち帰るしかないのである。

ヨーロッパのいくつかの都市には建築書の専門店があって、自国の出版物だけでなく、かなり国際的な規模で建築の本や雑誌を並べている。一般の出版物だけでなく特殊な刊行物までストックしているのが、私なんぞにはうれしい。たとえば、数年前の展覧会のカタログやパンフレットの残本を用意している店もある。常設でない展覧会を見ることの出来な

かったものにとっては、貴重な資料である。西ベルリンの芸術アカデミーは各種の展覧会活動で知られているが、毎回のよう立派なパンフレットを出している。しかも、その近所にある Wasmuth という店では、それらの残本を買い求めることができるのである。私は、この店で、西ベルリンだけでなく、アメリカやイギリスでの展覧会の資料まで手に入れたことがある。

また、これから訪れようとする国々や都市の建築ガイドブックが求められるのもありがたい。コペンハーゲンの Arnold Busch という店では、カリフォルニアの都市やスコットランドの都市などの建築ガイドブックまで手に入れることができたのを思い出す。短期間に見学旅行をしようという者にとって、事前に計画が建てられるのは大助かりである。

外国で日本の建築書に出会うのもうれしいもので、シュトゥットガルトの Karl Kramer の店では、日本ではすでに売切れていて入手困難な村野藤吾作品集などが書棚に並んでいるのを見つけたときに、返品してもらったら日本で売れるのにと思ったりした。

日本の建築書といえば、私が以前に日貿出版社から出した「The Modern Japanese House」が、外国の書店に並べられているのを発見したときは、感慨無量であった。いくつかの店で、パスポートを示して著者だと名乗り出ると、店員は店主をよんでくれて、急に親しく様々な会話をしたものだ。その後、私は、向うの本を買うのも良いが、こちらの本も向うに買わせなくちゃならないことを痛感したことが、思い出される。

Bettina Hürlimann

Picture-Book World: Modern picture-books from twenty-four countries with a bio-bibliographical supplement by Elizabeth Waldman.

Translated and edited by Brian W. Alderson.

First published 1965 under the title "Die Welt im Bilderbuch."

by Atlantis Verlag, Zürich. (Oxford U. P.)

£2. 50

ベッティナ・ヒューリマンは、スイスの児童文学研究家で、日本にも数回来日しており、各国の童話ならびに絵本について造詣の深い人である。この本は、彼女の "Three Centuries of Children's Books in Europe." (子どもの本の世界。野村玄沢・福音館書店) の続編として書かれたもので、彼女自身の絵本のコレクションを中心に、世界24ヶ国 160 名におよぶイラストレーター、および絵本の数々を豊富なイラストレーションによって紹介した "絵本についての本" としては他に類のない充実した内容を持っている。

絵本それぞれの内容、ストーリーには全くふれず、イラストレーション・イラストレーターについてのみ網羅し、分析したもので、絵本のスタイルブックと呼ぶにふさわしい本である。あるいは、この本自体がひとつの絵本として成立しているとも言えよう。

ドイツ・オーストリア・スイス・アメリカ・北ヨーロッパ・イギリス・地中海地方・フランス・西ヨーロッパ・アジア諸国など、それぞれの国の絵本の歴史・現状を概説することで始まるこの本は、その半分以上のページをイラストレーションのために費している。それらの膨大なイラストレーションを見ると、イラストレーターおのおのの性格を、あるいはそれぞれの国民性を反映して、個性豊かなものばかりであるのに気付く。日本でもよく知られたイラストレーターも数多く見られるが——そしてもちろん日本のイラストレーターも含まれている——こうして並べて見ると、あらためてその多様さに、表現の豊かさに眼を見張る思いがする。現代の子ども達には、これだけの豊かな絵本を手にするチャンスが与えられているということに羨望すら感じさせるほどである。

それらのイラストレーションは、Animals in Picture Book, Rhymes and Pictures, Summer and Sun, といった項目に分けられ、思い思いに描かれた動物や太陽が次々とあらわれ、The World of Man: Present and Past. として世界各国の風俗があらわされて終る。絵本を通して子ども達に世界というものがどう示されているのかを、読者に知らしめているのであるが、これらは、私達にも充分はほえましく、見ていて楽しい。一面社会科の教科書としても使えそうな感じもするが、ヒューリマンの意図は、もちろん現代の子どもと絵本を語ることにあり、それを実際の絵本のイラストレーションをもって示している訳で、"いい絵本とは、これとこれのことですよ。" といったいい方はせず、もっとつきはなした形で、絵本とはどんなものかを考えようとしているのである。

ところでこの本には、もうひとつよく出来た点がある。この本が、絵本の、あるいはイラストレーターの Reference Book として非常に有効に使えることだ。前述のように、160 名におよぶイラストレーターが紹介され（もちろんイラストレーションも掲載されている）、それが Elizabeth Waldmann によって巻末に Bio & Bibliographical Supplement として、代表作などとともにまとめられている。たとえば、Brian Wildsmith について知りたいとする。この Supplement を見ると、1930年生れのイギリス人であることから始まって、その経歴、代表作などについて記され、本文中の頁 28、103 頁に彼のイラストレーションが収録されていることがわかる。本文を開けば、彼の画風まで一挙に知ることが出来る訳で（現在の世界の絵本のイラストレーターのリストとして 160 名というのは、実用として適当な数といえる。）、Who's who として十分な内容を持っている。絵本について知りたい時に、是非揃えたい一冊である。

イラストレーションが多いため、文章では十分に伝えられないのは残念だが、この本のよさは、ここに収められたそれぞれの絵本のよさであり、彼女はあくまで紹介者にとどまっているが、彼女の "本選びのたしかさ" がたしかに一冊を作りだしたと言える。（丸善・洋書売場 山崎隆秀）

## Duncker & Humblot

1 Berlin 41, Dietrich-Schäfer-Weg 9

このほど創立 175 周年を迎えた Duncker & Humblot の名は、特に人文・社会科学系の学術書のドイツ屈指の出版社として、わが国でも広く知られている。

同社の歴史は、1798年9月22日にベルリンで創立された Verlagbuchhandlung von Heinrich Frölich に端を発している。この Frölich 社は、シュレーゲル兄弟が主宰したドイツ・ロマン派の機関誌『アテナウム』の版元として今日でも名を残している。修業期間を終えたばかりの若い Carl Friedrich Duncker (1781年3月25日生) が同社にアシスタントとして入社したのは1806年3月のことであった。その直後、1806年3月に、社主の Frölich が死亡、その遺産相続人は、Duncker の俊秀を見こんで彼に同社の経営を委ねた。

Duncker は、莫大な負債をかかえていた同社を、政治的に混乱した状況（ナポレオン戦争）の中で、約二年間で完全に立ち直らせ、1809年1月1日には、Peter Humblot と共同で同社を所有するにいたる。また、このときから社名も Duncker & Humblot と称することになった。Peter Humblot は 1828 年に没し、Carl Duncker はその後 1866 年まで一人で社業を背負って立つことになる。

当時の主要出版物には、1924 年まで何度も版を重ねた、K. F. Becker の “Weltgeschichte” をはじめ、Leopold von Ranke, Varnhagen, Hegel の著書などが数えられる。すでに、歴史、法律、文学、哲学の分野の出版に確固たる地位を築いていた。

Carl Duncker は社業の発展につくしたのみならず、ドイツの出版業・書籍販売業者の統一的な協会である Börsenverein の創設に加わり、1825 年に設立された同協会の 1828 年から 1831 年までの会長として、業界の発展に貢献した。Duncker は 1869 年 7 月 15 日に没したが、その三年前に、出版社を Carl Geibel 父子に譲渡した。同時に同社はライフチッヒに移り、さらに 1922 年にはミュンヘンに移った。

当時の出版物には、ドイツの代表的な人名辞典として知られる “Allgemeine deutsche Biographie, 56 Bände, Leipzig 1875-1912” がある。これは、最近同社で復刻されたが、更に戦後 Neue deutsche Biographie, Berlin 1953～” によって継承され、現在も刊行中である。

1938 年に、現在の社主、Dr. Johannes Broermann (1897 年 10 月 17 日生) が、同社を Geibel 家から買い取り、本社をベルリンに移した。第二次大戦中は Duncker & Humblot 社にとっても苦難の時代であった。ライフチッヒの社の施設は破壊され、1944 年には政府当局から閉鎖を命じられたが、出版社の完全な解体は辛うじて免れた。

戦後、昔日の声名を取り戻そうとする、ブレイルマン博士を中心とする同社のスタッフの努力は並大抵のものではなかった。その成果は、1968 年の、戦後の同社の出版物を取めた 275 ページにのぼる総合目録と、1970 年の 140 ページものその補遺に示されている。戦後の同社の出版は、経済、経営、法律、政治、社会科学の分野に大きな比重がかけられている。哲学、文学、自然科学、医学にもすぐれたものを出しているが、点数は少ない。“Betriebswirtschaftliche Forschungsergebnisse”, Volkswirtschaftliche Schriften”, “Schriften zum Öffentlichen Recht” など数多くのシリーズものや、“Schmollers Jahrbuch für Wirtschafts-und Sozialwissenschaft” や、“Soziologus”, “Konjunkturpolitik” などの雑誌も、わが国の読者になじみ深いものであろう。（伊藤暢章記）

## 海外ニュース

### 「米国出版社の推計輸出額—1972年」

(単位: 100万ドル)

|              | カナダ向  | その他   | 計     | 全売上高に<br>対する% |
|--------------|-------|-------|-------|---------------|
| 一般書(合計)      | 12.3  | 3.8   | 16.1  | 4.2           |
| 成人向堅表紙       | 4.3   | 2.8   | 7.1   | 3.5           |
| 成人向紙表紙       | 1.9   | 0.9   | 2.8   | 5.1           |
| 児童書          | 4.5   | 0.2   | 4.7   | 3.7           |
| 宗教書          | 2.3   | 7.2   | 9.5   | 8.4           |
| 専門書          | 12.3  | 57.7  | 70.0  | 20.0          |
| 大衆市場向ペーパーバック | 13.9  | 10.8  | 24.7  | 9.8           |
| ブック・クラブ      | 6.7   | 0.5   | 7.2   | 3.0           |
| 通信販売出版物      | 3.3   | 1.7   | 5.0   | 3.0           |
| 大学出版局        | 2.9   | 2.9   | 5.8   | 14.1          |
| 小・中・高校教科書    | 13.7  | 8.9   | 22.6  | 4.6           |
| 大学教科書        | 12.4  | 24.3  | 36.7  | 9.8           |
| 標準テスト        | 2.1   | 0.3   | 2.4   | 9.0           |
| 予約制参考書類*     | 39.0  | 202.4 | 241.4 | 39.9          |
| その他          | 3.9   | 0.8   | 4.7   | 3.8           |
| 計            | 135.5 | 325.2 | 460.7 | 14.5          |

(\* 外国で製作されたものを含む)

(Publishers Weekly, 10月22日号より)

### 「E V A 併合さる」

ドイツ労働組合と組合員の決定に従って、フランクフルトの組合経営の出版社として知られる **Europäische Verlagsanstalt** は、1974年1月1日に、フランクフルトからケルンに移り、当地の同じく組合経営の **Bund Verlag** に併合されることになった。ただし、その後も同社の社名と法的な独立性は残される模様。

この決定は、フランクフルト書籍市の直前に発表されたものだが、併合の理由は、財政面と組織上の困難ということである。(Börsenblatt 西独版10月16日号より)

——紀伊國屋書店提供——

## ニュース

- ☆ Collier Macmillan International の Area Sales Manager, Mr. Thomas Antorino 10月上旬来日。
- ☆ Wm. Dawson & Sons の Sales Development Department の Manager, Mr. Cyril F. Watt 10月上旬来日。
- ☆ Moore-Cottrell Subscription Agencies, Inc. の President, Mr. Alex D. Lieb 10月上旬来日。
- ☆ Current Book Distributors Pty Ltd. (Sydney) の Director, Mr. H. C. Begg 10月中旬来日。
- ☆ Associated Book Publishers の Director, Mr. Michael Turner 11月上旬来日。
- ☆ John Wiley & Sons の Mr. Robert B. Ellis, Manager, Export Sales 10月下旬来日。
- ☆ Marcel Dekker Inc. の Dr. Maurits Dekker, Chairman of the Board 10月下旬来日。

## 通 関 統 計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）1973年月7月号所載

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和48年7月 \$7,870,000 1月以降累計 \$38,857,000

昭和47年7月 \$6,314,000      \$34,264,000

（註）此の統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まれない

## 総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

榊 医学書院      ☎ 814-5931

Butterworth & Co.

K. Jefferson & S. Rees: Clinical Cardiac Radiology (Sept. '73)      ¥13,200

C. B. W. Parry: Rehabilitation of the Hand, 3rd ed. (Oct. '73)      ¥7,920

Grune & Stratton, Inc.

J. W. Kirklin: Cardiovascular Surgery; Current Status and Advances (Dec. '73)      ¥4,320

S. Karager AG.

H. Villarreal: 5th International Congress of Nephrology (Apr. '74)      ¥24,000

Medical Technical Publishing Co.

Immunology Series in 7 vols.

R. Y. Calne: Immunological Aspects of Transplantation Surgery (Oct. '73)      ¥6,600

L. Fry & P. P. Seah: Immunological Aspects of Skin Diseases (Dec. '73)      ¥6,600

P. Alexander: Immunological Aspects of Cancer (Dec. '74)      ¥6,600

B. Benacerraf: Immunodeficiency and Immunogenetics (May '74)      ¥6,600

Elsevier/ Excerpta Medica/ North-Holland

T. Frigyesi et al.: Corticothalamic Projections and Sensorimotor Activities (N-Holland, Ready)      ¥9,680

Springer Verlag

F. Pauwels: Atlas zur Biomechanik der

gesunden und kranken Hufte (Dec. '73)

¥47,600

Georg Thieme Verlag

A. Matthes & R. Kruse: Neuropaediatric (Nov. '73)      ¥31,500

The Williams & Wilkins Company

M. E. Kricun & J. Ediken: The Hand and Wrist in Systemic Disease (Ready)      ¥6,240

C. M. Pearson & F. K. Mostofi: The Striated Muscle (International Pathology Monographs No. 12) (Ready '73)      ¥10,240

H. J. Norris et al.: The Uterus (International Pathology Monographs No. 14) (Ready '73)      ¥9,440

榊 極東書店      ☎ 265-7531

Precedent Publishing, Inc., New York

Marx, K. & Fr. Engels, The Collected Writing in the New York Daily Tribune. Ed. with notes and intro. by A. T. Ferguson Jr. & S. J. O'Neil. 4 vols. March, 1974. in prep. set ¥24,000

丸 善 榊 ☎ 272-7211

Apple, D. J. and M. Raab. - Clinico-Pathological Correlation of Ocular Diseases: A manual and stereoscopic atlas. (Mosby, St. Louis) ca ¥30,000

Breen, J. L. and W. J. Jaffurs. - An Atlas of Gynecology and Obstetric Pathology. Book Form Edition. (F. A. Davis Co., Philadelphia) ca ¥19,200

Dimitrov, N. V. and J. H. Nodine (eds.) - Drugs and Hematologic Reactions: The twenty-ninth hahnemann symposium. 415 p. (Grune & Stratton, New York) ca ¥8,800

Friedmann, I. - Pathology of the Ear. 608 p. 324 illus. (Blackwell Scientific Pub., Oxford) ca ¥8,800

Troutman, R. G. - Ophthalmic Microsurgery: Principles and Techniques. (Mosby, St. Louis) ca ¥12,800

Travel in Colour Series. English Edition. Africa Mini Atlas.

The Atlas of Africa. English Edition. 350 p. 138 maps in 6 colours. (Jeune Afrique/ Africa Journal Ltd. London) ca ¥22,880

ウォルト・ディズニーの決定版

いよいよ発売!!

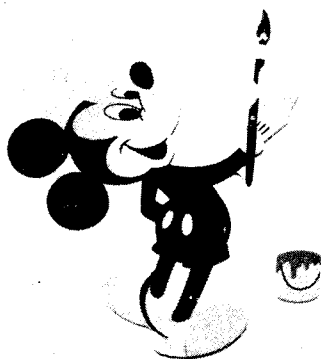


# THE ART OF WALT DISNEY

FROM MICKEY MOUSE TO THE MAGIC KINGDOMS

copyright © 1973 Walt Disney Productions

## —— ウォルト・ディズニーの世界 ——



子供の夢、おとなの思い出—— ミッキーマウスやダンボ、バンビが跳びはねている。白雪姫やシンデレラも揃ってにぎやかに登場。

イラストの原点から始まるディズニーアニメの全貌からディズニーランドの未来都市の雄大な構想まで Disney 芸術のすべてです。

ハリー・N・エブラムズ社最新刊

ワイド版26.5cm×34cm イラスト763枚 カラー351枚

458ページ 上クローズ装

解説C・フィンチ ディズニーランドの解説P・ブレイク

写真R・バリ

定価 ¥14,400 年内特価 ¥11,200

## JOYOHAN 日本洋書販売配給株式会社

東京都新宿区西大久保4-170千160 TEL208-0181代振替東京95014番

札幌／札幌市北区北19条西5-20-39

仙台／仙台市国分町3-9-14

横浜／横浜市中区石川町3-91

名古屋／名古屋市中区元古井町3-9 カニエビル

TEL011-741-7786

TEL0222-23-7307

TEL045-641-2071

TEL052-731-7591

大阪支社／大阪市東淀川区豊里町925

広島／広島市竹屋町7-9

福岡／福岡市博多区奈良屋町10-14

沖縄／沖縄県那覇市若狹3-1-8

TEL06-328-4223

TEL0822-44-5705

TEL092-29-6774

TEL0988-68-0245

昭和48年11月 通巻第79号 洋書輸入協会

編集者 寺久保一重

〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室

☎ 271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル

☎ 371-5329